

# 安価な新規スタックポリシート (ロール品)の使用試験



①梱包状況



②開封時の様子



③リフトに吊るしている様子



④バンカー端まで伸ばしている様子



⑤展開前の様子



⑥展開後の様子

<b>試験目的</b>	安価な新規スタックポリシート(ロール品)の使用試験
<b>試験作物 及び品種</b>	牧草サイレージ
<b>試験資材 及び数量(規格)</b>	スタックポリシート(0.15mm×13.5m×65m) 1本(ロール)
<b>慣行資材</b>	スタックポリシート(0.095mm×13.5m×64m) 1本(タタミ)
<b>資材使用期間</b>	7月6日～11月6日

### 試験結果

#### (1)作業性について(慣行品との比較)

慣行のタタミ品と比較して、使用時の広げる手間が省けるため、短時間での被覆作業・省力化が可能となった。ただし、ロール品を広げる際にロール管に棒を差し込み、リフト2台で吊るしながらバンカーの端へ引き伸ばす作業が必要となり、本作業の前段階としてロール品をリフトに載せる作業が必要となってくるが、重量が大きいため複数人での作業が必要となっていた。

#### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

サイレージ品質に関しては、特に影響はなかった。鳥害等による目立った被害も確認されなかった。

#### (3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

特に鳥害やその他亀裂などは発生しておらず、慣行品と同様に問題なく使用できている。

### モニター感想

(TMRセンター アクシス 川目課長)  
使用時の作業感度としてはタタミ品のような広げる作業を必要としないため、幾分楽だった。但し、作業後のサイレージ品質への影響等は、一概に本製品の良し悪しで判断できるものではなく、クロスシート等バンカー全体に様々な要因があることから、単純に作業効率の部分で多少楽だったとしか現時点では言及できない。

### JA担当者の感想(資材生活課 須貝係)

従来の規格品であると、大型のバンカー向けのスタックポリシートは、原反の張合わせの関係上タタミ仕上げになってしまうため、広げる際に手間や労力がかかることから現場ではかねてより幅の大きいスタックポリシートについてもロール品を求める声が多かった。本試験品はそういった中で実用に足る製品であると考えられ、今後ますます需要は高まっていくものと考えられる。

### 今後の使用について

継続して使用したい。

### 将来希望する資材について

クロスシートについても、幅が大きな規格品のロール化を希望する。

- 1 高温対策
- 2 害虫忌避効果
- 3 調光フィルム
- 4 シェードネット
- 5 クリーンシート
- 6 マルチ
- 7 不織布
- 8 育苗資材
- 9 酪農資材
- 10 その他